

インターネット公示

「間質性肺炎急性増悪の重要性に関する後ろ向き調査」に関する公示

特発性肺線維症（Idiopathic pulmonary fibrosis: IPF）を代表とする間質性肺炎は月～年の単位で進行して命に関わる疾患とされています。IPFにおいては、急速に新たな肺の陰影が出現して状態が悪化する急性増悪という病態も知られています。間質性肺炎には様々なタイプが存在していますが、IPF以外のタイプにおける急性増悪の頻度や発症後の経過についてはこれまでほとんど知られていません。これらを知ることは治療向上のために重要と考えています。

今回、2007年5月～2015年7月に当院で診断された間質性肺炎患者さんのうち、急性増悪に関する診療情報を収集して調査を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象者の個人情報を厳重に保護しています。データ収集・解析期間は2018年11月までになります。上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科医師・鈴木淳（電話 0561-82-5101）までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 近藤 康博

研究実施者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科医長 鈴木 淳

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 木村 智樹

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 片岡 健介

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 松田 俊明

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 横山 俊樹